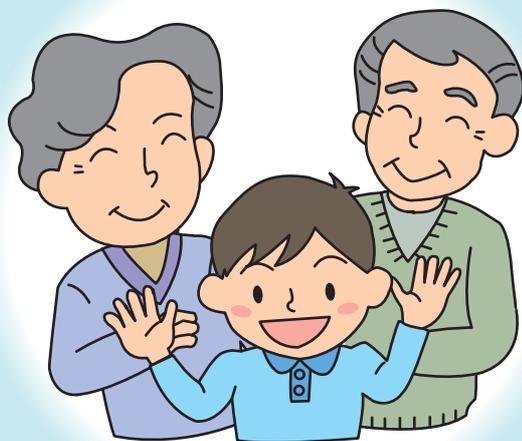


親を学び伝える学習プログラム

発展プログラム・手引き



1 祖父母・シニアプログラム

- 親子の会話にどうかかわりますか？①
- 親子の会話にどうかかわりますか？②
- 二人のシニアの方の体験から
- 伝統行事の受け継ぎ

2 地域プログラム

- 子育て支援の輪を広げよう！
- 地域の子どもは地域で育てる

3 乳幼児期・学童期ショートプログラム

- あなたの家の朝のあいさつは…？
- 身近なものでこんなに遊べる！

4 思春期ショートプログラム

- 反抗期の子どもと向き合う！
- やる気を高める言葉がけとは？
- 登校をしぶる子どもに向き合う



親子の会話にどうかかわりますか？①

エピソード

聡くんがテストを持ってきました。見ると30点。
さてお父さん（お母さん）は何と…？

お父さん（お母さん）が聡くんは何と言っているのかA～Eの中から選んで、その後祖父母だったらどうかかわるか考えてみましょう。



- A どうしたの、この点数。遊んでばかりいないで勉強しなさい。
- B お父さん（お母さん）悲しいな。
- C お父さん（お母さん）も点数の悪い時あったよ。今度がんばろう。
- D 隠さずに見せてくれてありがとう。わからなかったところ、一緒にやってみようか。
- E その他（ ）

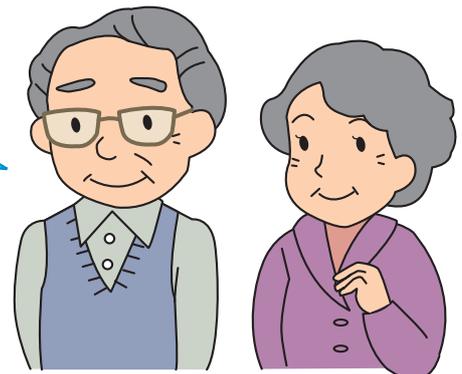
祖父母は、この場面でどうかかわればよいと思いますか。

○孫には

- A お父さん（お母さん）の子どもだから、もっとできるはずだ。
- B おばあちゃん（おじいちゃん）も悲しいな。
- C 今度、がんばってくれたらうれしいな。
- D 親ががんばって子育てをしているので、子どもには口は出さない。
- E その他（ ）

○親には

（自分が子育てをしていた頃のことを思い出したり、比べたりしながら考えてください。）



親子の会話にどうかかわりますか？②

エピソード

ほたるちゃんが保育所の畑で掘ってきたサツマイモ。皆に配られ、お母さんがふかしてくれました。でも、お父さんはテレビに夢中。さて、お父さんを会話に巻き込むためにお母さんは何と…？

お母さんがお父さんに何と言っているのかA～Eの中から選んで、その後祖父母だったらどうかかわるか考えてみましょう。



- A (強い口調で) お父さんテレビばかり見ていないで、ほたるの話聞いて。
- B ねえ、お父さん。ほたるのお話聞いてあげて。
- C ほたるが掘ってきたサツマイモ、一緒に食べよう。ホクホクだよ。
- D ねえ、お父さん、〇〇チームの調子は、最近どう？ところで、今日ほたるがね…？
- E その他 ()

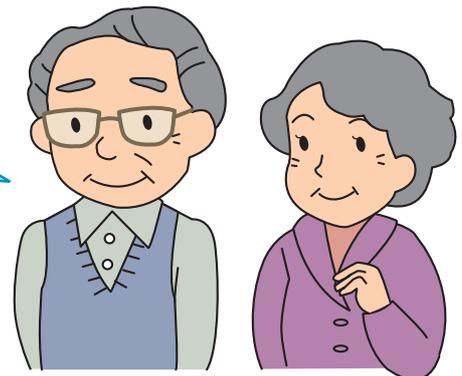
祖父母は、この場面でどうかかわればよいと思いますか。

○孫には

- A お父さんも一緒に食べればいいのに。ねえ、ほたるちゃん。
- B お父さんに「一緒に食べよう」と言いなさい。
- C ほたるちゃんが掘ってきたイモだから特においしいね。
- D おいしいね。おじいちゃん(おばあちゃん)にも、イモ掘りでがんばったことも教えてね。
- E その他 ()

○親には

(自分が子育てをしていた頃のことを思い出したり、比べたりしながら考えてください。)

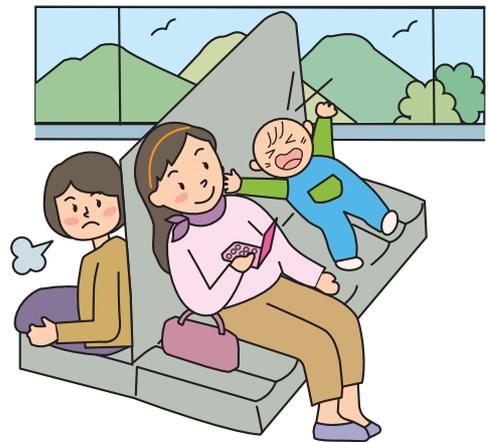


二人のシニアの方の体験から

エピソード

子育てもいろいろ…？

- 昭子さん夫婦は、レストランで夕食を楽しんでいました。しばらくすると、近くの席の子どもたちが歩き回ったり、食器で遊んだりし始めました。しかし、親たちはおしゃべりに夢中です。
- 佳子さんは旅行に行くため、列車に乗っていました。しばらくすると、近くの席の2歳ぐらいの子どもがぐずりはじめ、なかなか泣きやみません。しかし、母親は平気な顔で携帯を操作しているので、年配の方が「どうして泣いているのか聞いてあげたら？」と声をかけたら、「泣くのはこの子の個性ですから、泣かせておいてください。これが、私の子育ての方針です。」と答えました。



1 レストランや、車中でこのような場面に出くわした場合、あなたはどのようにしますか？

2 あなたが子どもだった頃や、子育てをしていた頃と比べて、子育てや親について変わったと感じること、変わっていないことは何ですか？

3 シニア世代から見て、気になる子育て風景を挙げてみてください。

4 気になる子育て風景を改善する方法やアイデアはありますか？

5 子育ての大切なことを若い世代にどのように伝えていけばよいでしょうか？

伝統行事の受け継ぎ

～時代に応じた指導～

エピソード

まつりの練習に一人の6年生が遅れてきました。

その子は「すみません」と言うわけでもなく、場の流れに乗れず、だらだらとしていました。指導していた年配者が「なんだ、その態度は。それでも最上級生か。昔だったらなぐられているぞ。」と、きつく叱ってしまいました。そのあと、その子どもは一度も来ませんでした。

指導にあっていた年配者と親たちは、この年の指導を反省し、とにかく、リーダーである6年生に恥をかかせないようにしようと話し合いました。下級生の前で叱ったりせず、遅れて来ても「忙しいのにありがとう」と言うようにしました。練習も行事当日も、子どもが主役であることを意識し、親たちは、陰で支えるようにしました。すると嬉しいことに、教えたこともしっかりと身につけてくれるようになりました。今では「早く6年生になってまつりをきりまわしたい」という「あこがれ」の気持ちを持ち、楽しんでこの行事を守り伝えています。

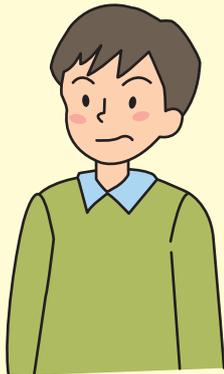


砺波地方の「夜高」



- みなさんはこれまでにシニア世代と若い親世代間で、文化や伝統を引き継ぐときの意識や考え方の違いを感じたことはありますか。それはどのような場面でしたか？

- 世代間の考え方の違いをどのように調整すれば良いでしょうか？

みんなで寄せ書き

子育て支援の輪を広げよう！

エピソード

子育て支援室に寄せられた、あるお母さんからの相談です。

3歳の男の子がいます。先頃、下の子が生まれてお兄ちゃんになりました。私が下の子にミルクをやっていると「ぼくも抱っこして」とせがむなど、赤ちゃんがえりがひどいです。



グループ
ワーク

- みなさんには、上のエピソードのように、家庭や家族のことで困っていることはありますか？困っていることを、ひとつ書いてみましょう。

- 記入した用紙を順番に回しながら、解決策を考えて寄せ書きしてあげましょう。あわせて励ましやねぎらいの言葉も添えましょう。

例：たしかに大変よね。赤ちゃんがねているときにお兄ちゃんも抱っこしてあげたら。
(智子)

- 回し終わったら順番に、記入した困りごとと寄せ書きを紹介し合ひましょう。
- いただいた寄せ書きのなかで、心に残ったものを選び、自分の感想をグループのみなさんに紹介し合ひましょう。

地域プログラム

発展
1



みんなで考えてみよう！
地域の子どもは地域で育てる

エピソード

集団下校中に、通学路でふざけて追っかけてこをしていた子どもの一人が車に接触するという事故がありました。幸い子どもには怪我はありませんでした。地区では住民による『子ども見守り隊』を組織し、当番制で子どもたちの登下校時に活動していますが、事故がおこり、保護者や関係者に衝撃が広がっています。

グループ
ワーク

- 1 地区の、親子交通安全教室で、見守り隊員の2人に話をしてもらうことにしました。あなたなら、下の5人のうち誰を選びますか？
2人選んで、その理由も書きましょう。



選んだ候補：（ ）さんと（ ）さん
選んだ理由：

— 子ども見守り隊の皆さん —



Aさん：女性（商店従業員。30代。母親クラブ員。小学生の子ども2人）

母親クラブの割当てで、この間初めて見守り隊に参加しました。それまでは、見守り隊が何をしているかも知らなかったんです。正直、地域のことはあまりかわっていません。ママ友たちとは心配だねと話していたし、他人事にも思えないけど、仕事が忙しいのです。



Bさん：男性（会社員。40代。町内会役員。小学生、中学生の子ども）

小学校PTAで“親父の会”を作り夜間パトロールを始めました。事故にあった子は、スポ少のサッカーで面倒を見ている子なので驚いています。まわりと声を掛け合って何か動きたいとは思いますが、なにしろ今はバリバリ働いているし、会社も大変なので。



Cさん：男性（自営業者酒店店主。50代。町内会役員。子どもは成人している）

仕事から、車であちこち配達に回るので子ども110番の車にして巡回したりして、特に危険箇所などもよくわかっていたつもりでしたが、まさかあそことは…。うちの子らも、昔は皆さんにお世話になりましたし、私であれば精一杯のお手伝いをさせていただきます。



Dさん：女性（主婦。60代。婦人会員。小学生の孫）

うちは親たちが共働きなので、私が一人で孫を見ていますが、小学生も中・高学年になるとなかなか言うことを聞かなくて心配しています。穏やかに話すのは得意ですが、私のような年寄りが、若い親御さんたちの前でお話をしてもよいのでしょうか。



Eさん：男性（農業。70代。老人クラブ役員。中学生、高校生の孫）

もともと警察官を長い間やってきたので、防犯・交通安全の話はできますよ。この間も小学校の交通安全教室で話をしてきました。でかい事故が起きんうちに、親たちを含めて地区の大人が、もっと子どもたちに関心を持って、少し言いにくいことも伝えていきたいです。

- 2 数人で話し合っ、グループとしての講師2人を選び、発表しましょう。

正解があるわけではありません。ざっくばらんに話し合うプロセスを大切にしましょう！

身近なものでこんなに遊べる！ ～すごいぞ新聞紙！～

1 1枚の絵を見る

日曜日の朝、
「お父さん遊ぼう！」
という大輔君。
テーブルには古新聞が！



2 あなただったら、新聞紙でどんな遊びをしますか。

Three empty thought bubbles for writing answers.

3 他の参加者の遊びを聞いてみましょう。

Six empty oval shapes for writing answers.

反抗期の子どもと向き合う！

エピソード

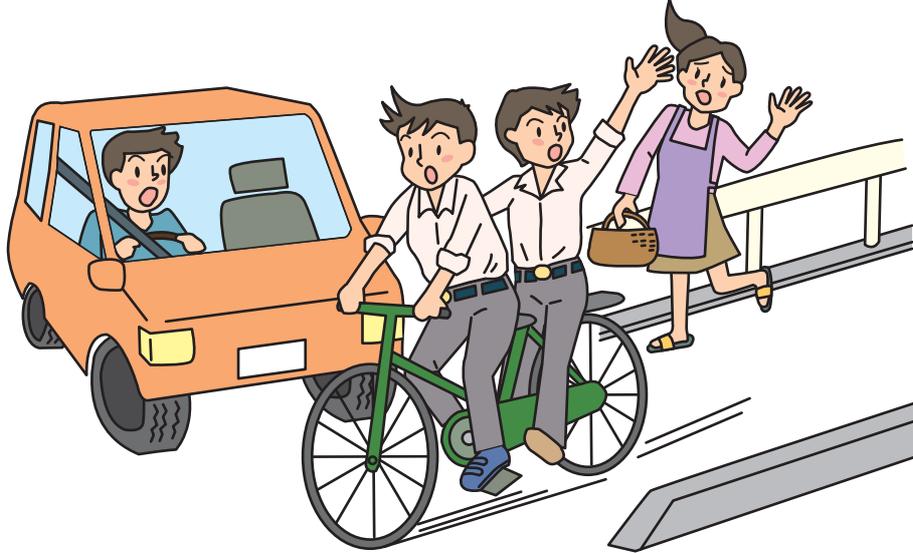
叱る？叱らない？

中学3年生の康太は、反抗期の真っ盛り。

先日も、些細な母親の注意に腹を立て、母親と口をきかないこと、1週間。

母親は、康太にどう接したらよいか分からなくなってきました。

そんなある日の夕方、買い物の途中で、康太と友達の姿を見かけました。二人は、自転車の二人乗りをしています。歩行者や自動車にぶつかりそうになり、周りの人も迷惑そうに見ています。



1 あなたが康太のお母さん（家の人）だったら、どうしますか？

2 反抗期の子どもとどう向き合っていけばいいでしょうか？

やる気を高める言葉かけとは？

エピソード

将来は…？

あつし君は、高校2年生。高校卒業後は大学への進学を何となく考えているものの、特にしたいことが見つからず、まったく勉強に身が入りません。以下は、そんな息子のことを心配したお母さんとあつし君との会話です。



あなたは大学に行きたいんでしょ？
もう少しまじめに勉強に取り組まないと、大学に行けなくなっちゃうわよ。

今のままでどこかの大学に入れるでしょ。そもそも、勉強を頑張って大学に行くことがそれほど大切なこと？ たとえ大学に行けたとしても、その後の将来が保障されるわけじゃないし。それだったら、勉強は適当にやって、今を楽しんだ方がましなんじゃないの？



1 あなただったら、あつし君に対してどのようなことを言いますか？

2 あつし君を「やる気」にさせる言葉をグループで話し合ってみましょう。

〈参考〉

問1：一生懸命勉強すれば、将来よい暮らしができるようになる。

	2002年
そう思う	48.9%
そう思わない	42.8%
どちらともいえない、わからない、無回答	8.3%

問2：進学の最終目標

(単位:%)

	1982年	1987年	1992年	2002年
大学まで	38.9	40.6	44.9	46.6

問3：学校外の勉強時間

(単位:%)

	1982年	1987年	1992年	2002年
ほとんど勉強しない	25.0	33.9	34.1	40.8

出典:NHK放送文化研究所編 2003、『NHK 中学生・高校生の生活と意識調査—楽しい今と不確かな未来—』日本放送出版協会より高校生のデータのみを抜粋。

登校をしる子どもに向き合う

1 翼くんはこのところ学校を休みがちです。このことで、担任の先生から電話がありました。

翼くんの今の出席状況ですと、出席日数が足りなくなるおそれがあります。お家の方からも、翼くんに働きかけていただけませんか。



ご迷惑をおかけし、本当に申し訳ありません。夫と相談して、対応を考えてみます。

2 その日の夜、翼くんのお母さんとお父さんは、翼くんのことについて話し合いました。

今日、担任の先生から電話があったわ。翼には何度も学校に行くように言ってるんだけど…。あなたの方から翼に言ってもらえないかしら。



わかった。今日、翼と話をしてみるよ。

3 お父さんは、翼くんにごどう話を切り出していいものか、頭を悩ませました。

うーん。どう言ったものか？



4 あなたが親なら、どのような対応をしますか？翼くんの不登校のきっかけを右の表の中から選択し、翼くんへの対応を考えてください。



表 不登校のきっかけ

	人数	比率
友人関係をめぐる問題	620	50.5
教師との関係をめぐる問題	290	23.6
学業の不振	385	31.4
クラブ活動、部活動の問題	230	18.7
学校のきまり等をめぐる問題	137	11.2
入学・転編入学・進級してなじめなかった	199	16.2
家庭生活環境の急激な変化	60	4.9
親子関係をめぐる問題	158	12.9
家庭内の不和	104	8.5
病気をしてから	184	15.0
その他	269	21.9

※現代教育研究会（2001、26頁）より、『不登校に関する実態調査—平成5年度不登校生徒追跡調査報告書—』。この報告書は、文部科学省から委託を受けた現代教育研究会が実施した調査の結果をまとめたものである。調査対象は、1993（平成5）年度に「学校ざらい」を理由に年間30日以上欠席した、中学校を卒業した生徒である。

※表からは「特に思いあたることはない」と回答した者を除いている。

チャレンジ25

からだどころが
元気になって
夢がかなう

できた! ○
できそう ○
頑張ろう △
できない ×

スタート
2回目
3回目
4回目
月 日 月 日 月 日 月 日

もうできていることは○、頑張ればできそうなことは○、
気合をいれて頑張ろうと思うことは△、できないと思うことは×をつけて、
できそうなことから一つずつチャレンジして、クリアを目指そう!

1	家に帰ったらすることの順番を決める				
2	宿題と学校の準備は夕ご飯前に片づける				
3	夕ご飯は7時までに食べる				
4	寝る前にコンビニや本屋などの明るい照明のところにしょっちゅう行かない				
5	寝る1時間前までにお風呂に入る				
6	親に小言は8時までにしてもらおう				
7	テレビやゲームは寝る1時間前にやめる				
8	寝る前30分は部屋を少し暗くする				
9	寝る前に「おやすみなさい」を言う				
10	明日朝、起きる時刻をイメージする				
11	明日休みでもいつもより2時間以上遅く寝ない				
12	電気を消して静かな部屋で寝る				
13	寝る前に明日の楽しいことを一つ思い浮かべる				
14	すぐに、ぐっすり、すっきりを目指そう!				
15	家を出る1時間前に起きよう				
16	朝目覚めたら、カーテンを開けよう				
17	家族に「おはよう」を言う				
18	朝食はしっかり食べる				
19	排便してから学校に出かける				
20	友達、先生とも元気に「おはよう」のあいさつをしよう				
21	学校でははっきりとした声で話し、本を読む				
22	給食の準備や、掃除もテキパキと体を動かそう				
23	体育の時間はテキパキと汗が出るほど体を動かそう				
24	授業中に眠くなったりしないか、自分の体調を確かめよう				
25	授業中にイライラしたり、友達とけんかばかりしていない				

子育てネットとやま <http://www.pref.toyama.jp/sections/3009/hp/> から検索できます。

祖父母・シニアプログラムの手引き

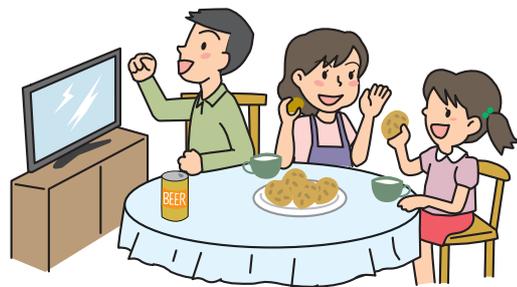
「子育てを応援したい」「アドバイスをしたい祖父母・シニア世代も使えるプログラムを是非作成して欲しい」とのご要望から、祖父母が親の子育てにどうかかわっていくかを考えるショートプログラム2事例と、子育てを体験した時代が異なる祖父母世代と同居の若い世代の葛藤と歩み寄りや協力の仕方を考える「二人のシニアの体験から」、そして地域の伝統行事を守りたいシニア世代の苦悩と工夫を取り上げた「伝統行事の受け継ぎ」の4つの事例としました。使い方はこれまでのエピソードと同様でかまいませんが、下の表に4つのエピソードの使い方の例を示しますので、参考にしながら色々な使い方をお試しください。



祖父母・シニアの表1 プログラムの流れ（親子の会話にどうかかわりますか？①、②）

時間	活動	留意点
3分	1 エピソードの状況を把握した後、親だったら何と言うか、A～Eから選びましょう。	○親として、どう対応するか考えてもらいます。
3分	2 エピソードの状況に、祖父母の立場でどうかかわるか、A～Eから選びましょう。	○親の対応によって、祖父母の対応が変わることを考慮してもらいます。
3分	3 親（自分の子）には、どうかかわりますか？	○家族関係によっても変化するでしょう。
6分～20分	4 グループ・全体で意見交換しましょう。	○参加人数によって、時間を調整しましょう。

手引き
発展





祖父母・シニアの表2 プログラムの流れ（二人のシニアの方の体験から）

時間	活動	留意点
10分	1 エピソードに登場するそれぞれの人々の気持ちを想像しましょう。	○自分がその場面にいると仮定して、自分ならどうするか考えてみましょう。
20分	2 5つの問に対して、一つずつ担当者を決めて、意見聴取と取りまとめをしながら進みましょう。	○5つの問に全員が答え合っていると時間が足りなくなる恐れがあるので、適宜選びながら進めます。
30分	3 グループ毎に話し合った内容と意見を紹介しましょう。	○各グループが発表する問を1～2つに絞って、時間短縮もできます。
適宜	4 会場全体で、発表後に、感想や追加したい意見があれば自由に意見交換をしましょう。	○グループ毎の発表内容を限定した場合には、どうしても話したい、聞きたいということもでてくるので、自由に発言できるようにします。



祖父母・シニアの表3 プログラムの流れ（伝統行事の受け継ぎ）

時間	活動	留意点
3分	1 各自、エピソードを黙読しましょう。	○それぞれの地域にも伝統行事などの受け継ぎで、様々な体験や思いをしたことがないか、思い出してもらいましょう。困ったこと、良かったこと等あると思います。
5分	2 自分が子どもだった時の想いと、今の年齢になって気づいたことは、あるでしょうか。それとも考えは変わっていませんか？	○自分の体験と、自分が年を重ねてきたことで考えが変わったり、異世代から学んだこともあるかどうか考えてみましょう。
10分	3 お互いの体験や意見を聞き合ひましょう。	○様々な考え方を、受け入れることができるように配慮しましょう。
10分	4 お互いが歩み寄りたり、理解し合ったりするための工夫や極意を出し合ひみましょう。	○お互いが分かり合うための、色々なアイデアを出し合ひましょう。
適宜	5 各グループの代表的な意見を紹介しましょう。	○会場全体で、同じ意見や異なった意見を共有し合ひて、視野を広げましょう。

地域プログラムの手引き

少子高齢化や核家族化等により、地域のつながりが希薄になるとともに、地域の中で子育てのノウハウが受け継がれる機会が失われつつあるなど、地域の教育力の低下が指摘されています。

そこで、地域全体で子育てを支援したり、子どもたちを育てたりしていくことについて考えてみましょう。

地域の表1 プログラム使用の流れ（みんなで寄せ書き 子育て支援の輪を広げよう！）

時間	活動	留意点
5分	1 4～8人程度のグループに分かれて、エピソードをそれぞれ読んでみましょう。	
10分	2 エピソードを参考に、自分自身が少し困っている悩みやモヤモヤした気持ちを書いてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○あまり深刻な悩みは書かない方がいいでしょう。 ○モヤモヤしていることや、嫌な気持ちになった時のことを書いてみましょう。 ○それほど詳しく書く必要はありません。
15分	3 グループワークで考えましょう。 1) 自分の悩みにグループのメンバーからコメントをもらいましょう。 2) 別のメンバーから紙を受け取り、それにあなたなりのねぎらいの言葉、励ましの言葉を簡潔に書きこみましょう。 3) これをグループ全体で回していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ○今の目的は、困りごとを完全に解決することではありません。 1) ねぎらい、ねぎらってもらおう体験は、あなたをどんな気持ちにさせるでしょうか。 2) 「あなたにも責任がある！」などの、相手を責めるようなコメントは避けましょう。 3) 相手の立場に立って、相手が少し元気になるようなコメントを考えてみましょう。
15分	4 受け取ったコメントを見て、どんな気持ちになるかを感じてみましょう。 また、受け取ったコメントについて、グループのメンバーと話し合ってみましょう。 心に残ったコメントを選んで、自分の感想をメンバーに伝えましょう。	○その時に感じた気持ちを素直に表現しましょう。
15分	5 グループの中で話し合ったことを、他のグループにもわかるよう発表してみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれのグループで出た話し合いの内容を紹介し合ひましょう。 ○他のグループの発表を聞き、より多くの意見をみんなで共有しましょう。可能な限り、様々な意見に対してオープンでありましょう。





地域の表2 プログラム使用の流れ（みんなで考えてみよう！ 地域の子どもは地域で育てる）

時間	活動	留意点
5分	1 4人程度のグループに分かれて、各自、エピソードを黙読してみましょう。	○6人以上になると、難しいので、最初は4人程度になるようにします。
10分	2 エピソードをもとに、あなたが選びたいと思う2人を選んでください。 また、その理由を自分なりに考えます。	○自分の考えを大切に選んでみましょう。選んだ2人に「正解」はありません。
5分	3 選んだ2人を表に書きこんでみます。 また、グループのメンバーが選んだ2人も表に記していきます。	○表の書き方は、例を参考にしましょう。
20分	4 ここで、グループの意見としての2名を選んでもらいます。 おそらく、お互いに様々な理由で、2名を出してもらったので、意見を調整する必要があります。	○2名を決める際のルールを伝えます。 1) 多数決で決めないこと。 2) 必ず、自分の意見や選んだ理由を表現すること。 そして、メンバーの意見にじっくり耳を傾けること。 (メンバーが意見を述べているときは、自分の意見を言わない) 3) よい意見があったら、自分の選んだ人を変えてもよい。 4) それでも簡単には自分の意見を譲らないこと。
15分	5 グループの中で話し合って決めた2人と、その2人を決めるにいたっての話し合いの流れを発表してみましょう。	○自分の価値観と人の価値観は違いますが、折り合いながら、グループとしての意見をもつことができることを感じましょう。 ○他のグループの意見を聞くことで、自分のグループにはなかった意見がないか確認し、考え方や感じ方の幅を広げましょう。

手引き
発展

表の書き方（例）

参加者／選ぶ講師	商店従業員A	会社員B	自営業C	主婦D	農業E
例) 富山さん		○			○
高岡さん			○		○

乳幼児期・学童期ショートプログラムの手引き

1. プログラムの追加趣旨と使用対象者

日本の子育ては、思いやりや社会性といったコミュニケーションの側面を重視した「共生」の子育てです。そのため、日本人が持つ思いやりや協力のスキル及び態度は、世界と比較して高く評価されています。日本の子育ての良さや特徴をふまえ、乳幼児期・学童期プログラムでは今年度、新たに2つのプログラムを追加しました。

1つめは「あなたの家の朝のあいさつは…？」です。このプログラムは家族の心温まるコミュニケーションをさらに増やしていくために開発しました。このプログラムでは、心地よい挨拶とはどんな挨拶かを使用者の方に考えていただくようになっています。

2つめは「身近なものでこんなに遊べる！～すごいぞ新聞紙！～」です。このプログラムは、お一人でもグループでも、身近な新聞紙を使った様々な遊びの知識を得ていただけるよう工夫しています。

日ごろ、特に意識を向けていなかった挨拶に改めて目を向けることによって、家族と愛情あふれるコミュニケーションをさらに持つようになったり、新聞紙を使った遊びによって親子の温かな心のつながりがさらに強められ、「お父さん、お母さんってやっぱりすごい！」とお子さんに改めて憧れられる場面が生まれやすくなると思います。

本プログラムを楽しみながら、ご活用ください。

2. プログラム使用の流れ

このプログラムは、基本的には短時間（約30分）で行なうことを想定して作られています。ですが、使用者の方のニーズに応じて時間を調節してご活用いただくことも可能です。なお、プログラム実施と合わせて、本手引きに掲載しているワンポイントアドバイス等もご覧ください。



乳幼児期・学童期ショートプログラムの流れ

時間	活動	留意点
3分	1 各自、黙読をしましょう。	○エピソードのような経験がないか思い出しながら読んでみましょう。
約25分	2 自分ではどうか、また自分の家庭ではどうかを考えましょう。 3 他の人と意見を交換したり、一緒にやってみたりしましょう。	○自分の考えを率直に書きましょう。 ○より多くの経験や考え方を共有し、考え方の幅を広げましょう。

【ワンポイントアドバイス】

〈子どもの発達段階に応じた挨拶とは？〉

乳児 赤ちゃんの目を見つめ、ボディタッチをして「おはよう」など声をかけるようにしましょう。加えて、赤ちゃんの体の動きに合わせて「今日も元気だね」などと声をかけたり、赤ちゃんと同じ表情をしたりしてコミュニケーションをとってみましょう。

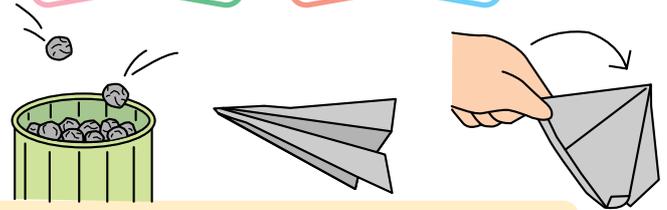
幼児 強要するのではなく、子どもが挨拶したくなるような雰囲気を作り出すために、大人のほうから笑顔で「おはよう」などと声をかけるようにしましょう。加えて、「今日は何をして遊ぶの？」など、今日の楽しい予定について尋ねてみましょう。

児童 挨拶は習慣になってきているので、さらに元気な表情ではっきりと挨拶するように、大人と子どもと一緒に実践していくようにしましょう。

新聞紙で遊ぼう

折る

- ・ひこうき／飛ばして遊ぶ
- ・紙でっぽう／鳴らして遊ぶ
- ・かぶと／かぶって遊ぶ



- ・丸めて、いろんな大きさのボールを作って遊ぶ。
- ・丸めてボールと入れ物を作り、玉入れゲームをする。
- ・穴を開けた新聞紙を吊るし、丸めたボールを投げて穴に通す。
- ・丸めてボールを作り、的当てゲームをする。
- ・丸めてボールを作り、吊った一枚の新聞紙を落とす。(破る)
- ・丸めたボールをたくさん作り、時間内にどれだけ取れるか競争する。

まるめる

- ・細い棒を作って遊ぶ。どのくらい細く作れるか、どのくらい長く作れるか…。
- ・自分で棒を投げて、キャッチして遊ぶ。
- ・2人以上で同時に棒を投げて、となりの人の棒をキャッチする。
- ・向かい合った2人が両手にお互いの棒を握り、お互いに引いたり押ししたりしながら、バランスを取り合う。
- ・2人1組でそれぞれがかぶとと棒を作る。向かい合ってじゃんけんをして、負けた方がかぶとをかぶり、勝った方が棒で軽くたたく。
- ・目隠しをして棒を握り、吊るしてある新聞紙を声をたよりにたたいて破る。(スイカ割りのルールで)
- ・棒状にし、端と端をつないでフープを作り、輪投げをする。
- ・棒状にし、端と端をつないでフープを作り、そのフープで輪くぐりをする。

棒を作る

- ・どんどん小さく折りたたんでいく中で、どれだけ多くの人が新聞紙に乗れるかグループごとに競う。
- ・新聞紙に首が通るほどの穴を2つあけ、首を通し、新聞ずもうをする。破れてしまった方が負け。
- ・新聞紙に首が通るほどの穴を2つあけ、2人1組で新聞リレーをする。(二人三脚のルールで)
- ・広げた新聞紙の両端を持ち、その上にボールを乗せてリレーをする。
- ・吊るした新聞紙に水鉄砲で水をかけ、新聞紙を下に落として遊ぶ。
- ・新聞紙を細く切ったものを使って、尻っぽ取りゲームをする

レクリエーション

- ・新聞紙の中の『の』の字さがし。
- ・決められた言葉や文字をさがす。
- ・自分の名前の文字をさがす。
- ・文字を切り貼りし、文章を作る。
- ・記事を選んで、伝言ゲームをする。
- ・写真だけを使って、オリジナルストーリーまたはオリジナル記事を考える。
- ・あらかじめ1枚の新聞を何枚かに切り、元の新聞に戻す絵合わせゲームをする。

ディスクゲーム

- ・新聞紙で衣装を作り、ファッションショーをする。
- ・棒状にした新聞紙をたくさん使って、新聞タワーを作って高さを競う。
- ・新聞をいろんな形にして、お城を作る。
- ・新聞紙をたくさんつなげて、迷路を作る。

創作

手引き
発展

思春期ショートプログラムの手引き



思春期ショートの表1 プログラム使用の流れ（反抗期の子どもと向き合う！）

時間	活動	留意点
約5分	1 グループ決め（1グループ3人）	○ファシリテーター（進行役）がグループワークの内容と進め方を説明します。 ○グループは、仲のよい人ばかりで構成されないよう配慮します。
約5分	2 あなたが康太のお母さんだったらどうするかを考えましょう。	○会話がなかなか思い浮かばない人については、自分の家庭を想像して会話を考えてもらいます。
約10分	3 各人が考えた康太への対応をグループ内で発表しましょう。	
約10分	4 反抗期の子どもとどのように向き合っていけばよいのかをグループ内で話し合ってみましょう。	○まずは反抗期の子どもの特徴について話し合い、その上で反抗期の子どもとどのように向き合っていけばよいのかを話し合みましょう。 ○グループで話しあう際、特定の人ばかりが発表するのではなく、できる限り多くの人が発表できるように配慮します。 ○意見が同じような内容に偏ってしまうことが予想されます。できる限り多様な意見が出されるよう参加者をうながします。
適宜	5 各グループで考えた言葉をみんなの前で発表しましょう。	○会場全体で、同じ意見や異なった意見を共有し合って、視野を広げましょう。

思春期ショートの表2 プログラム使用の流れ（やる気を高める言葉がけとは？）



時間	活動	留意点
約5分	1 グループ決め（1グループ3人）	○ファシリテーター（進行役）がグループワークの内容と進め方を説明します。 ○グループは、仲のよい人ばかりで構成されないよう配慮します。
約5分	2 あつし君への言葉がけを考えてみましょう。	○会話がなかなか思い浮かばない人については、自分の家庭を想像して会話を考えてもらいます。
約10分	3 各人が考えた言葉がけをグループ内で発表しましょう。	

約10分	4 あつし君を「やる気」にさせる言葉をグループ内で話し合ってみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が子どもだったときに、「やる気」をそがれた言葉と、「やる気」にさせられた言葉とを考えてみましょう。 ○グループで話しあう際、特定の人ばかりが発表するのではなく、できる限り多くの人が発表できるように配慮します。 ○意見が同じような内容に偏ってしまうことが予想されます。できる限り多様な意見が出されるよう参加者をうながします。
適宜	5 各グループで考えた言葉をみんなの前で発表しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○会場全体で、同じ意見や異なった意見を共有し合って、視野を広げましょう。

思春期ショート

	?
	?

の表3 プログラム使用の流れ（登校を渋る子どもに向き合う）



時間	活動	留意点
約5分	1 グループ決め（1グループ3人）	<ul style="list-style-type: none"> ○ファシリテーター（進行役）がグループワークの内容と進め方を説明します。 ○グループは、仲のよい人ばかりで構成されないよう配慮します。
約5分	2 翼くんへの対応を考えてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○表の中から不登校のきっかけを1つ選択した上で翼くんへの対応を考えてもらうよう念を押します。
約10分	3 各人が考えた翼くんへの対応をグループ内で発表しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ内で出された意見を不登校のきっかけごとに整理しましょう。
約10分	4 表の中から不登校のきっかけをいくつか選択し（2つ程度）、それぞれの場合についての適切な対応をグループ内で話し合ってみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校のきっかけが特定のものに集中すぎないように配慮します。 ○グループで話しあう際、特定の人ばかりが発表するのではなく、できる限り多くの人が発表できるように配慮します。 ○意見が同じような内容に偏ってしまうことが予想されます。できる限り多様な意見が出されるよう参加者をうながします。
適宜	5 各グループで考えた言葉をみんなの前で発表しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ○会場全体で、同じ意見や異なった意見を共有し合って、視野を広げましょう。

親を学び伝える学習プログラム（発展プログラム）の作成について

平成18年度の通称「親学び」試行プログラムから22年度までの5年間で29事例ができあがりました。この間にも、熱心に取り組んで下さった市町村や、PTA、各団体では、オリジナルプログラムも作成されており、この事業を飛躍的に育ててくださったことに、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

平成23年度は、さらなる体験者の声から、子育てを支援する「シニア」や「地域」の方々向けのプログラムと、多忙な中でも短時間で体験していただける「ショートプログラム」を11事例作成しました。

子ども達の健やかな成長を願って、両親はもとより、祖父母や教師、地域の人々、企業の人たちも、それぞれに何ができるだろうかと、ともに考えたいと思いました。そして気がついたのが、一人一人の大人が学ぶ意欲をもって、イキイキと生きる姿で、大切なことを子ども達に伝え、子どもも大人も一緒に成長したいという、世代を超えた共通の願いでした。

こうして「親を学び伝える学習プログラム」は6年間かけて、合計40事例ができあがり、多くの方々に体験していただけるプログラムに育てていただきました。今後もこれらのプログラムが、一人でも多くの家庭教育や子育てに関わる方々の支えになることを心より願っています。

平成24年3月
親を学び伝える学習推進委員会会長 神川 康子

平成23年度 親を学び伝える 学習推進委員会

会長	神川 康子	富山大学 人間発達科学部 教授
副会長	久保田 真功	富山大学 人間発達科学部 准教授
委員	石津 憲一郎	富山大学 人間発達科学部 准教授
〃	若山 育代	富山大学 人間発達科学部 講師
〃	浦田 久美子	富山県家庭教育アドバイザー
〃	門脇 真理子	富山県家庭教育アドバイザー、子育てサークル人形劇団ショコラ代表
〃	萱原 昌子	小児科医、富山県家庭教育カウンセラー、スクールカウンセラー
〃	高原 徹	元砺波市立砺波東部小学校校長
〃	寺西 外美	元富山市立中央小学校校長
〃	土肥 由美子	スクールカウンセラー、臨床心理士
〃	廣川 美奈子	富山県家庭教育アドバイザー、県PTA連合会アドバイザー
〃	吉川 佳子	富山県家庭教育アドバイザー、県PTA連合会アドバイザー
〃	中村 啓志	富山県公民館連合会事務局長

親を学び伝える 学習プログラムの ダウンロード

子育てネッ!とやま
<http://www.pref.toyama.jp/sections/3009/hp/>

子育て情報・ 子育て相談窓口の案内

子育てほっとライン ☎076-433-4150
家庭教育カウンセリング 「子育てほっとライン」で予約をお願いします。
子育てネッ!とやま (パソコン版・携帯版)

子育てネッ!とやま

検索



メール相談 「子育てネッ!とやま」HPから
働く人のためのインターネット家庭教育講座

親を学び伝える学習プログラム（発展プログラム・手引書）

平成24年 3月発行

編集・発行 富山県教育委員会 生涯学習・文化財室

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号 電話 076-444-3435